

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあつては名称) 大和紙器株式会社		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒 567-0003 大阪府茨木市西河原北町1-5	
本票作成	部署名：瀬戸内工場 総務部				
主たる業種	分類コード	14	業種名：パルプ・紙・紙加工品製造業		
事業の概要	段ボールシート・ケースの製造・販売				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	瀬戸内工場		岡山県瀬戸内市長船町土師1696	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 2 年度)	(令和 4 )年度排出量	目標年度(令和 7 年度)
	4,244 t CO <sub>2</sub>	4,139 t CO <sub>2</sub>	4,118 t CO <sub>2</sub>
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 4 )年度排出量
	①	瀬戸内工場	4,139 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：	令和 3 年度	～	令和 7 年度	( 5 箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	( 4 )年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	0.3 %	3.0 %	<input type="checkbox"/> 達成	<input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量(千㎡)	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 4 )年度	目標年度
		0.02876 t CO <sub>2</sub> /(千㎡)	0.02866 t CO <sub>2</sub> /(千㎡)	0.02790 t CO <sub>2</sub> /(千㎡)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 4 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

計画2年目として排出量は増加したが、原単位としては微減であり、目標には未達。生産量の増加(前年比100.48%)と電力の使用量原単位の低減が原単位減少に繋がったと考える。実施予定の対策の内、大きな効果が見込まれる事案に手を付けられていない事が影響していると思われる。今後、計画に挙げた取り組みにできる事から着手するとともに、生産性を向上させて稼働時間を短縮させる事と原単位低減に向けた生産量増量に取り組んで行く。また新たな改善対策を検討する。

**【推進体制】**

- ・エネルギー管理統括者を中心とした管理体制を敷く。
- ・ISO14001のトータルマネジメントシステム(TMS)委員会(委員長：工場長)を運用し、効率的な改善方法を検討・推進していく。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
瀬戸内工場	<p>(令和4年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・節電の啓蒙</li> <li>・エアコン室外機のフィン清掃 (CO2削減量6.2t/年)</li> <li>・エアコン室外機に日射遮蔽をする (CO2削減量0.1t/年)</li> <li>・自動販売機を最新省エネ型に更新する (CO2削減量0.2t/年)</li> <li>・温水洗浄便座の省エネ (CO2削減量1.5t/年)</li> </ul> <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気ボイラの燃焼空気比の適正化 (CO2削減量10.5t/年)</li> <li>・空気漏れによるコンプレッサ動力の損失防止 (CO2削減量21.5t/年)</li> <li>・コンプレッサの吐出出力を低減する (CO2削減量13.8t/年)</li> <li>・自動販売機を最新省エネ型に更新する (CO2削減量0.5t/年)</li> <li>・蒸気弁・配管の保温による熱損失の防止 (CO2削減量11.5t/年)</li> <li>・ボイラの燃焼排ガスを利用した給水の余熱 (CO2削減量60.2t/年)</li> </ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

- ・休憩時などの空調、照明、動力の節電の徹底を周知
- ・生産性向上による生産時間短縮の取り組み
- ・原単位低減を目指した生産量増加への取り組み